

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

平成30年指針

富士情報

進化的成長

[今月のひとこと]

組織の課題

- 避難訓練を実施
- 新フロアに引越しーシステム・東京



富士山とコスモス（河口湖北岸）

写真提供：富士河口湖町 観光課



今月のひとこと

組織の課題

社長 渡辺直企

リオ五輪体操女子代表の宮川紗江選手に対する速見佑斗コーチのパワハラとその処分に端を発した体操におけるパワハラ問題は、塚原千恵子女子強化本部長に対するパワハラ告発という展開となり混沌としています。今年に入ってレスリングでの栄強化本部長のパワハラ、ボクシング協会の助成金不正流用など多くの団体で問題が噴出しています。なぜこのタイミングで多くの問題が表面化してしまったのか考えてみました。第一に個人の発信力が高くなり告発が容易になったり、いくつかの競技での告発が続いた流れがあります。これまで閉ざされていた各競技団体に対するオープン化の流れと言えます。青山学院大学陸上部の原晋監督は「体操協会だけでなくスポーツ協会の構造的な問題だと思いますね。今回は体操協会ですけれども、あらゆる協会に共通して言える構造的な問題ですね」とテレビでコメントしていました。現在の一連の告発は、各団体がかねてから抱えていた組織の文化的な問題が表面化したものと言えます。

そもそも、体操の塚原夫妻やボクシングの山根前会長が団体を代表するような立場に何故なれたのかが疑問を感じます。競技者や指導者として実績があったとしても団体の代表となると組織運営力が欠かせませんが、報道によって知るそれぞれの問題や、各人の行動、発言から見てもふさわしいとは言い難いと感じます。これは各団体が組織として未熟な状態、共同体の状態であったため代表を選ぶ時にも倫理観をはじめ組織運営能力を重視するのではなく、人脈、声の大きさ、選手としての実績などで選ばれたためだと思われる。

会社の組織は段階を経て成熟していきます。まずは起業家が事業を起こす起業の段階。この時期に仕事がお客さんから評価されると、一人では賄いきれず、数名の仲間を募ります。これが共同体の段階です。共同体では起業家が仲間に直接コミュニケーション取ることによって効率の良い組織運営が可能になります。さらに事業が拡大すると多くの人を募ります。この段階では起業家は全員と直接コミュニケーションをとることが困難となり、組織のルールが整備されます。組織のルールが整備され起業家とのコミュニケーションが希薄になっていくと、ルールが優位になり官僚化の問題が発生し、組織が硬直化します。そこで自律的な組織運営をするためのルールをスリム化し官僚化を防いで組織の成長を継続します。

8月23日にスポーツ庁が提出した来年度予算案の概算要求では110億円でした。オリンピックの強化費は2008年の北京オリンピックが27億円でしたので大幅な増額です。一連の問題は、助成金、ナショナルトレーニングセンターに関するものでした。倫理観が乏しく未熟な組織に膨大な資金が流れ込んだ結果、権力の乱用、暴走となり今回の騒動につながったのだと思います。各競技団体が国内唯一の組織であり、それぞれ多くの競技者を抱えている点、公的な資金である点を考えると一組織の問題とは言えません。資金の供給元であるスポーツ庁が責任を持って資金、権力の運営を監視すべきですし、我々が大いに関心を持つことで各競技団体が成熟したオープンでフェアな組織に成熟できるよう後押しできます。2020年の東京オリンピックでは価値のあるメダルを多く輩出し、メダリスト達がメダルを取得した瞬間だけでなく、その後も社会に良い影響を与えていくよう期待しています。

避難訓練を実施

9月19日に本社・山梨事業部で避難訓練を実施しました。午後3時の合図でエントリー、システム、本社、丸久の職員が富士吉田事業所前の駐車場に避難する訓練を行いました。

社長から「訓練とは言え落ち着いて避難ができました。万一災害が起きたときにも今日のように落ち着いて行動できるよう、日頃から心がけておいてください」などの講評がありました。

総合警備保障の滝口さんから消火器の使い方について説明をいただき、「消火器の粉末が出る時間は10秒～15秒で、自分の身長より高い炎は消化できないため、そのような場合は消防署に連絡して避難してほしい」との話がありました。

今年は集中豪雨、台風の上陸、地震など全国各地で災害が発生しています。日ごろから避難経路などを確認しておきましょう。



社長講評



非常階段から避難



○新フロアに引越し ～システム・東京～

八王子三井生命ビル2階フロアの増床のための準備作業が完了し、このたびシステム部門が3階から引越しました。

OAフロア化したため、電源やLANケーブルが床下から配線され、床がすっきりし、サーバーが会議室エリアへ移動して機械の音がなくなり静かになりました。また、サーバー類の移



動とともに、古い什器を処分したため、フロア全体を広く利用するレイアウトになり、通路が少し広くなりました。

3階から2階へそのまま移動したので使い勝手にはあまり変化はありませんが、引越したことでリフレッシュして仕事に取り組んでいるということです。



会議室

今月の表紙

～富士山とコスモス～

猛暑の夏がようやく過ぎて、富士山麓は日に日に秋の色合いを濃くしています。表紙の富士山は雪がありますが、今年はまだです。富士山の初冠雪の平均日は9月27日だそうですが、ここ数年は10月に入ってから、去年は10月23日でした。

丸久通信

認知症発症前から
あなたとご家族をサポートする保険

笑顔をももる 認知症保険

限定告知認知症一時金特約付払込期間中無解約返戻金限定告知骨折治療保険

詳しい保障内容や保険料につきましては丸久までお問い合わせください

お問い合わせは 丸久へ 電話：0555-24-2341 メール：marukyu@ag.sjnk.co.jp



私の趣味
No.468

海釣りはじめました

高梨直樹

初夏の七夕、東京湾走水、天気は曇り、波はやや高め。午前6時過ぎ、船外機付きボートで沖に出る。海釣りは今回で2回目。前回は5月上旬、結果はボウズ。先輩は見事クロダイを釣り上げていた。大物じゃなくても構わない、とにかく釣りたい。サビキの仕掛けを竿に結び、いざリベンジへ。

錘が海底に落ちてから2～3回リールを巻き、竿をしゃくって魚を誘う。この繰り返し。この日のためにインターネットでサビキ釣りを勉強してきた。潮風を肌を感じながらボートに揺られて、気分も上々。今日はきっと釣れるはず。

午前8時過ぎ、竿に小さな感触が走る。確信はないが、何か仕掛けに食いついた感はある。慌ててリールを巻き上げる。仕掛けの先に赤い小さな魚影が見えた。私にとっては初めての獲物は、体長10数センチの「カサゴ」だった。先輩から祝福の言葉。嬉しさ半分、恥ずかしさ半分…。

何はともあれ2回連続ボウズは回避できた。これで波に乗りたい。アンカーを上げ、大物を求めてさらに沖に出る。

正午に近づいた頃、厚い雲の隙間から、太陽の光が海に差し込んでいる。光芒（こうぼう）と呼ばれる美しい光景。その景色に見とれながら竿を下ろすと、何か仕掛けに食いついた。すかさずリールを巻き上げる。ずっしり重い。まるで海底から座布団を引き上げているようだ。先輩から「頑張れ！」の掛け声。黒い魚影が見えた！

「カレイかな？ヒラメかな？」「左向きだからヒラメだな」と先輩の検分。初めての獲物に私のテンションは上がる。体長は38センチだった。

その後も「サバ」「イワシ」「ベラ」などを釣り上げ、午後13時過ぎに終了。釣果は写真のとおり。海釣り2回目としては、まずまずの結果ではないでしょうか？

次に狙うは大本命の走水名物「黄金アジ」。東京湾走水での戦いはまだまだ続く…。

(三井倉庫ビジネスパートナーズ(株) イメージングセンター センター長)

